

令和 2年度 「校庭芝生化地域連携事業」 実施報告書

区市町村名	瑞穂		
学校名	瑞穂町	立	瑞穂第五小学校

1 事業目的 協議会名 瑞穂第五小学校芝生維持管理委員会

学校と保護者、地域住民、スポーツ団体が芝生の維持管理を連携・協働して行う仕組みづくりを推進することを通して、学校を中心とした地域のコミュニティをはぐくむとともに子供の心身の成長・発達や地域の教育力の向上を目指す。

2 主な取組と成果

例年と同じく、今年度も「芝生活用事業」として、【高齢者と子供の集い】【グランドゴルフ大会】を企画し、地域の方の協力を得て、子供たちと地域の方々との交流を通して、子供の健全育成と地域の活性化を図る計画であったが、新型コロナウイルス感染症予防から中止となった。

芝生上での運動・遊びの充実を図るため、芝生の上と周囲の自然の中を走る持久走「グリーンロード大会」も上記同様、中止となった。制限はあるが出来る範囲のことを実施しようと考え、スポーツ旬間で様々な種類の運動の場を設定したり、運動用具を開放したりした。その取組から、休み時間の遊びの種類が増え、それらを使って、工夫した遊びも見られた。

また、「芝生維持管理事業」として、芝刈り、施肥、散水、雑草取り、芝生の補植等も例年のようにはいかず、PTA企画の芝刈り・草取り活動は中止となった。少数に絞った五小芝生維持管理委員会のメンバーで芝刈りや草取り、種まき作業を行った。

3 取組内容

◇芝刈り・雑草取り(PTA活動)、 グリーンロード大会(学校行事)、高齢者と子供の集い・グランドゴルフ大会 (地域連携事業) → 新型コロナウイルス感染症予防のため中止

◇スポーツ旬間(9月28日～10月9日 昼休み 全校児童232名)
 ・芝生の校庭で、フリスビーやボールなどの運動用具を使い、多様な動きをつくる運動遊びをする。
 ・体育委員の児童が準備・片付けをし、積極的に外遊びを続けていく態度を養う。

◇全校たてわり班遊び集会(毎月1回程度 朝の時間 全校児童232名)
 ・1～6年生で編成されたたてわり班で、6年生がリーダーとなり異年齢集団で遊びを楽しむ。



4 今後について

【今後の方針】
 今年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点から、地域のお年寄りや幼児などとの連携事業が行えない残念な状況であった。今後の情勢でどうなるかわからないが、例年同様、下記の3点の方針で事業を継続していきたい。

- 地域とのコミュニティをより一層充実させ、子供の健全育成・体力向上を目指した取組をさらに進めていく。
- 芝生を楽しむ機会の充実、芝生を活用した運動の取組、地域の方との交流の推進を図る。
- 好天時は、地域の幼児が散策がてら本校校庭で休憩や遊び場として活用している。幼保小連携の観点から、幼稚園・保育園にも積極的に芝生の校庭利用を啓発していく。